広報チームが行く！

Vol 74
2026/10/23

～総合防災訓練の巻～

広報チームは、鳴瀬川総合開発事業及び関連する地域の情報を様々なメディアを活用し「親しみやすく」「わかりやすく」広報することを目的に令和２年６月に鳴瀬川総合開発工事事務所の職員で結成したチームです。

国土交通省東北地方整備局
鳴瀬川総合開発工事事務所

東北地方整備局では、災害発生時における被災情報の迅速な収集・伝達及び情報共有に加え、災害応援協定を締結している各種団体との連携体制を確認することにより、広域的な災害対応能力の向上を図ることを目的として「総合防災訓練」を実施しています。

※例年、防災週間（８月３０日から９月５日まで）に訓練を実施していますが、令和８年熊本地震への支援対応等のため１０月５日に実施しました。

★訓練当日の流れ(一部抜粋)

○９：２０　宮城県加美町漆沢を震源とする最大震度６強の地震が発生

→支部体制設置基準に基づき「非常体制」を設置。庁舎内の点検及びダム予定地の巡視のため職員の派遣を開始



加美町長とのホットライン(模擬)

○１０：３５　ダム予定地付近筒砂子川右岸側にて河岸崩落に伴う河道閉塞※を確認

※河川内へ大量に土砂が堆積し、流れを完全にせき止めている状況

→・緊急復旧災害申請のための手続きを開始



加美町へのリエゾン派遣

○１０：４０　加美町長⇔事務所長間のホットライン(模擬)を実施

→・事務所長からは河道閉塞の発生確認及び緊急復旧手続きを開始したこと、情報連絡員(リエゾン)の派遣を行うことを伝達
・加美町長からは庁内及び近隣市町村の被災状況を伝達

○１１：１５　緊急復旧工法の策定を実施

→同時に協力業者への資機材・人員手配を実施し、１１：４５に緊急復旧工事着手



緊急復旧工法策定の様子

○１３：３０　緊急復旧工事完了

○１４：００　他に被害がないことを確認し、支部体制設置基準に基づき体制解除→訓練終了



情報記録(クロノロ)の様子

上記で説明した流れの他、記者発表資料の作成やTEC-FORCE要請、被災箇所からの中継による報告等を行い、限られた時間の中で本番と同様の緊張感を持って演習に取り組みました！！

鳴瀬川総合開発工事事務所では、突発的に発生する大規模地震に対して、いつでも対応できる体制づくりに努め、地域の皆様の安心安全確保に努めております!!



訓練の一環として
SNS投稿もしている
から見るだぁ～ご☆

鳴瀬川総合開発
工事事務所

今回は、総合防災訓練について紹介しました。広報チームは、これからも様々な情報を事務所ホームページや、X(旧Twitter)等で発信していきます。